

校正のお仕事について

☆校正とは？ 校閲との違いは？☆

校正と校閲の位置づけをざっくり言うと、基礎編「校正」・発展編「校閲」になります。

◎校正とは…文字や文章上の誤りを原稿(印刷物を作るための資料)と見比べてチェックする作業です。
原稿と校正刷りを見比べて、原稿通りに作成されているかを確認します。
誤字・脱字、体裁の間違い、写真・図版などの誤りがないかを確認します。
簡単に言うと「文字の間違い探し」です。

◎校閲とは…原稿に書かれている内容そのものに間違いがないかを調べる作業です。
校正の仕事内容にプラスして、原稿や校正刷りなどを読んで内容が正しいかを確認します。
内容の矛盾や表現、事実関係の誤りなど、間違いがないかを調べて正します。
2016 年にテレビドラマ化された「地味にスゴイ! 校閲ガール・河野悦子」で出ていたのはこちらの校閲のことです。

弊社で行うのは『**校正**』です。

☆主な仕事内容☆

名刺やチラシといったペラ物から、情報誌などの小冊子(ページ物)まで担当します。

◎原稿通りに作成されているか、原稿と校正紙(原稿をもとに作成して出力したもの)を照らし合わせてチェックします。

◎基本は原稿を尊重しますが、その原稿も入力ミスや勘違いで間違っていることもあります。
校閲のように内容そのものを調べることまではしませんが、以下のことは調べます。

<例>

- ・年月日と曜日が一致しているか。
- ・固有名詞
- ・仮名遣い (例)○少し**ず**つ ×少し**づ**つ
- ・送り仮名 (例)○短**い** ×短**かい**
- ・異字同訓 (例)進める・勧める・薦める・奨める
図る・計る・測る・量る・謀る・諮る
- ・同音異義語 (例)異義・異議・意義・威儀 保証・保障・補償

◎同じ語句を漢字で書くか平仮名で書くかなど、表記の統一がされているかのチェックも行います。

◎間違いを見つけたら辞書などで調べて、修正するよう指示を書き込んだり、修正していいかどうか先方(お客様)に質問(確認)をしたりします。

☆校正を通して☆

印刷物は人間が作成する物なのでミスが起こることもあります。どんなに綺麗に印刷されていても、誤字が一つでもあればその印刷物は台無しです。

校正は、印刷物が世に出てしまう前に“間違い”を見つける「最後の砦」でもあり、印刷物を通して先方(お客様)の信頼と読者の安心を届ける仕事です。

根気のいる作業ですが、自分が校正として担当した仕事が印刷物になったとき、やりがいと達成感を味わえます。

☆補足☆

校正に必要なスキルは、入社後に学びますので安心してください。